高松市「『スマートシティたかまつ』プロジェクトの推進」

【平成29年度データ利活用型スマートシティ推進事業】

実施地域	香川県高松市
実施団体	同上
実施概要	・共通プラットフォームを産学官の連携により構築し、持続的に成長する上で市が抱える多様な課題のうち、特にプライオリティが高い防災・観光分野の課題についてデータを収集し、分析等を行うとともに、産学官の多様な主体が参画するための体制整備等を行う。 ・ICT・データの活用と産学民官の多様な主体との連携により、地域課題を解決し、持続的に成長し続ける「スマートシティたかまつ」の実現に向けて、様々な分野における取組を実施。

防災分野(2017年度~)

水位センサー等の設置による対応迅速化

観光分野(2017年度~)

レンタサイクルを利用する観光客動態の把握

福祉分野(2018年度~)

ウェアラブル端末による高齢者見守り

交通安全分野(2018年度~)

交通事故ヒヤリハット発生地点の特定

まちづくり分野(2019年度~)

- ・商店街への通行量カメラの設置
- バスロケーションシステムの構築

農業分野、健康分野…(今後)

他自治体への横展開

IoT共通プラットフォーム(FIWARE) 【本番/実証環境/ODサイト】



高松市「『スマートシティたかまつ』プロジェクトの推進」

実施効果

指標(目標値、平成30年度)	事業開始前(平成28年度)	事業開始後(平成30年度)
防災分野 応急対応のため本市水防計画上の水位・潮位観 測地点に派遣する職員数:0人	10名(2名1組×5班) (危険水位・潮位になりそうな時点のみ派遣)	0名
データの利活用等から期待される事項	・様々な分野のデータ収集から、複合的なデータ分析や地域の多様な課題解決に活用 ・データを公開することで民間企業による新たなアプリケーションの開発促進 ・ICTを通じて幅広い層の市民との双方向の対話実現	

総事業費:118,444千円(H29~R元年度) 初期費用:87,480千円

ランニングコスト: 8,964千円(H30年度決算) 22,000千円(R元年度予算)